

2023年漁業センサスにご協力をお願いします

農林水産省は、令和5年11月1日現在（流通加工調査は令和6年1月1日現在）で「2023年漁業センサス」を実施します。

水産業を営むすべての世帯や法人を対象に5年ごとに行う全国一斉調査です。調査票が届きましたら、ご回答をお願いします。

なお、スマートフォン等を利用したオンラインでの回答も可能です。「漁業センサス」は、漁業の現状を知り将来を考えるための大切な調査です。回答内容は、統計を作成するためだけに使われます。ご協力をお願いします。

📞お問合せ 総務課情報管理係 ☎ 62-1211



工藤 隊員

地域おこし協力隊日記 #26



三好 隊員

こんにちは、協力隊の三好です。今年は稲刈り時期が少し早く、9月初めには金色の海がきれいでした。新米がとても楽しみです。実は私の知り合いも、羽幌町ふるさと納税でお米が届くのを楽しみにしていました。

羽幌高校の海岸清掃とマイクロプラスチック調査 ～海洋ゴミ・プラスチック問題を考える～ 文：三好隊員

9月11日、羽幌高校とシーバードフレンドリー協議会が連携した環境学習として、はぼろサンセットビーチの海岸清掃を行いました。北るもい漁業協同組合、羽幌ロータリークラブにもご参加いただき、300kgのゴミを拾うことができました。プラスチックゴミがとても多かったです。

海岸清掃の後、高校生は各班で拾ったゴミの特徴やどんなゴミが沢山あったか観察しました。日本語の文字が書かれたペットボトルや漁具が多く見つかったほか、発泡スチロールや缶が多いと記録した班、海鳥が間違えて食べてしまいそうなゴミを分けてメモしている班もありました。

翌12日には、ビーチの砂の中にあるマイクロプラスチック（5mm以下のプラスチック）の調査を行いました。見つけたマイクロプラスチックの数と海岸の長さから計算した結果、サンセットビーチには約18万個のマイクロプラスチックがあると分かり、驚きの声が上がっていました。

海洋ゴミの70％は陸由来であり、現在、海鳥の90％はプラスチックを食べていると言われています。海鳥や人が安心して暮らせる海や地域の自然環境についてどんなことができるか、今後の授業で探究してもらえたらと思います。



海岸清掃の様子

ご参加くださったみなさま、ありがとうございます！

羽幌の自然すなっぷ

「ダイサギと金色の稲穂の海」

シラサギという名前の鳥は、実はいません



羽幌町地域おこしFacebookもぜひご覧ください！

協力隊の活動や日々の出来事を発信していきます。

登録はこちらから ➔

